

津村俊充 名誉教授 略歴・業績

略 歴

- 1951年9月25日 徳島県に生まれる
1974年3月 徳島大学教育学部卒業
1977年3月 名古屋大学大学院教育学研究科博士前期課程修了（教育学）
1979年4月 南山短期大学人間関係科講師
1985年4月 南山短期大学人間関係科助教授
1985年8月 アメリカ合衆国 University of Massachusetts at Amherst 留学
（1986年8月まで）
1992年4月 南山短期大学人間関係科教授
2000年4月 南山大学人文学部教授（改組による学部所属変更）
2000年4月 南山大学人文学部心理人間学科長（2003年3月まで）
2003年4月 南山大学評議会評議員（2006年3月まで）
2004年4月 南山大学大学院人間文化研究科教育ファシリテーション専攻主任
（2008年3月まで）
2004年4月 南山大学人間関係研究センター長（2014年3月まで）
2008年4月 南山大学大学院人間文化研究科長（2012年3月まで）
2012年4月 南山大学学生部長（2014年3月まで）
2015年3月 南山大学退職
2015年4月 南山大学名誉教授

学 会

- 日本グループダイナミックス学会会員（1975.4～2015.3）
日本行動計量学会会員（1975.4～2005.3）
日本心理学会会員（1976.4～2012.3）
日本教育心理学会会員（1976.4～現在に至る）
日本心理学会第50回大会準備委員（1986.10）
日本人間性心理学会会員（1987.4～2016.3）
日本社会心理学会会員（1988.4～2015.3）
日本社会心理学会第29回大会準備委員（1988.10）
日本グループダイナミックス学会第40回大会準備委員（1992.10）
東海心理学会会員（1996.5～2014.3）
日本人間性心理学会第15回大会準備委員（1996.10）
東海心理学会第46回大会準備委員長（1997.5）
日本グループダイナミックス学会第51回大会委員（2004.05）
日本ニューロサイエンス看護学会（2013.04～2015.03）
日本人間性心理学会第33回大会準備委員長（2014.10）

業 績

〈著書〉

1. 社会心理学パースペクティブ2—人と人を結ぶとき— [共著] (誠信書房, 1990), 361 pp.
2. 人間関係トレーニング：私を育てる教育への人間学的アプローチ [共編著] (ナカニシヤ出版, 1992), 174 pp.
3. 社会的スキルの心理学—100 のリストとその理論— [共著] (川島書房, 1994), 273 pp.
4. クリエイティブ・ヒューマン・リレーションズ第1巻 人間関係トレーニング概論—体験学習による人間関係トレーニングを实践するために [共編著] (プレスタイム, 1996), 280 pp.
5. 社会的スキルと対人関係—自己表現を援助する— [共編著] (誠信書房, 1996), 273 pp.
6. 新版クリエイティブ・ヒューマン・リレーションズ [共著] (プレスタイム, 2001), 59 タイトル分冊
7. 野外教育入門 [共著] (小学館, 2001), 254 pp.
8. 改訂 看護実践のための心理学 [共著] (メディカ出版, 2001), 357 pp.
9. ラーニングガイド学習指導論 [共著] (一粒社, 2002), 143 pp.
10. ヒューマニスティック・グループ・アプローチ [共著] (ナカニシヤ出版, 2002), 176 pp.
11. クリエイティブ スクール [共編著] (プレスタイム, 2003), 237 pp.
12. ファシリテーター・トレーニング—自己実現を促す教育ファシリテーションへのアプローチ— [共編著] (ナカニシヤ出版, 2003), 187 pp.
13. 心理学 [共著] (ナカニシヤ出版, 2005), 328pp.
14. 人間関係トレーニング 第2版—私を育てる教育への人間学的アプローチ— [共編著] (ナカニシヤ出版, 2005), 198pp.
15. 社会的スキルを測る：KiSS-18 ハンドブック [共著] (川島書店, 2007), 204 pp.
16. 調査実験 自分でできる心理学 [共著] (ナカニシヤ出版, 2007), 149 pp.
17. 臨床社会心理学 [共著] (東京大学出版会, 2007), 258 pp.
18. ラーニングガイド 教育の方法と技術 [共著] (一粒社, 2008), 145 pp.
19. スクールカウンセリングと発達支援 [共編著] (ナカニシヤ出版, 2008), 217 pp.
20. 南山大学連続講演会講演集「大学院の授業を聞きに行こう」 [共著] ((株) エヌ・イー・エス, 2009), 303 pp.
21. ファシリテーター・トレーニング 第2版—自己実現を促す教育ファシリテーションへのアプローチ— [共編著] (ナカニシヤ出版, 2010), 199pp.
22. プロセス・エデュケーション 学びを支援するファシリテーションの理論と実際 [単著] (金子書房, 2012), 231 pp.
23. 実践 人間関係づくりファシリテーション [共編著] (金子書房, 2013), 180 pp.
24. インタープリター・トレーニング—自然・文化・人をつなぐインタープリテーションへのアプローチ— [共編著] (ナカニシヤ出版, 2014) 192pp.
25. 改訂4版 看護実践のための心理学 [共著] (メディカ出版, 2015), 263 pp.

〈学術研究論文〉 (1991 年度以降の業績のみ掲載)

1. 「セルフ・サイエンス～自己認識を深めるためのトレーニング～」 [単著] 『人間関係』8号 (1991/03) 130-138pp.
2. 「Tグループにおける集団と個の変化～参加者の気づきと学びを中心にして～」 [単著] 『人間関係』10号 (1993/03) 39-87pp.
3. 「Tグループを用いた人間関係トレーニングの教育実践」 [共著] 『人間関係』13号 (1996/08) 127-205pp.

4. 「自己啓発セミナーとマインドコントロール～Tグループを用いた人間関係トレーニングと似ても非なるもの～」[単著]『現代のエスプリ「マインドコントロール」と心理学』369 (1998/04) 182-195pp.
5. 「体験学習による人間関係トレーニングの理論と実際—Tグループトレーニングを基礎とした体験学習の歴史的・人間学的考察」[共著]『人間関係』16号 (1999/03) 1-22pp.
6. 「体験学習の基本理念と方法について—ラボラトリ・メソッドによる体験学習をもとに—」[単著]『兵庫教育』53巻7号 (2001/10) 10-17pp.
7. 「学校教育への体験学習導入による授業改革の試み—「生き生き学級・生き生き学校づくり」講座実践をもとに—」[共著]『人間関係研究』創刊号 (2001/12) 107-164pp.
8. 「学校教育にラボラトリ・メソッドによる体験学習を導入するための基本的な理論と実際」[単著]『体験学習実践研究』1巻 (2001/12) 1-10pp.
9. 「体験学習による社会的スキルのトレーニングのための教育プログラムの理論と実践」[単著]『秘書教育研究』10号 (2002/03) 24-32pp.
10. 「「環境教育」と「体験学習」の関連について考える」[単著]『体験学習実践研究』Vol.2 (2002/11) 9-20pp.
11. 「環境教育と体験学習の関連性について—環境教育指導者がファシリテーターとして機能するために—」[単著]『人間関係研究』第2号 (2003/03) 1-18pp.
12. 「関わりの中で私を知るメカニズム～社会心理学の幾つかのモデルから～」[単著]『体験学習実践研究』Vol.3 (2003/11) 1-9pp.
13. 「人間成長にかかわる教育ファシリテーターとなるための一考察—管理・教育者視点からファシリテーター視点への転換—」[単著]『刑政』第115号 (2004/03) 26-40pp.
14. 「進路指導における自己理解の必要性と方法論について」[単著]『人間関係研究』第3号 (2004/03) 135-147pp.
15. 「メンタリングにおけるオリエンテーション・プログラム開発およびメンタリングの評価測定尺度の作成とその検討」[単著]『人間関係研究』第4号 (2005/03) 18-39pp.
16. 「ラボラトリメソッドによる体験学習の7つの視点」[単著]『体験学習実践研究』Vol.5 (2005/11) 1-8pp.
17. 「3つのグループワークの誕生と展開およびグループワークの効果メカニズムとその測定の試み」[単著]『人間関係』第6号 (2007/03) 30-47pp.
18. 「ラボラトリ方式の体験学習を用いた人間関係づくり授業実践の試みとその効果」[単著]『カトリック教育研究』第24号 (2007/08) 83-87pp.
19. 「小・中学校における人間関係づくりをめざしたアクションリサーチ—ラボラトリ方式の体験学習を用いた教育実践の試みとその評価—」[共著]『人間関係研究』Vol.7 (2008/3) 26-53pp.
20. 「自己変革のためのアクションリサーチ「セルフ・サイエンス」—認知行動療法の原理を活用して—」[単著]『人間関係研究』Vol.7 (2008/3) 54-67pp.
21. 「プロセス・エデュケーション事始め～E.H. シャインのプロセス・コンサルテーションを手がかりに～」[単著]『体験学習実践研究』Vol.8 (2008/11) 1-11pp.
22. 「プロセスからの学びを支援するファシリテーション—ラボラトリ方式の体験学習を原点として—」[単著]『人間関係研究』Vol.8 (2009/03) 30-68pp.
23. 「問題解決プログラムの実際～K. レヴィンの場の理論を用いて～」[単著]『体験学習実践研究』VOL.9 (2009/11) 9-15pp.
24. 「グループワークトレーニング—ラボラトリ方式の体験学習を用いた人間関係づくり授業実践の試み—」[単著]『教育心理学年報』第49集 (2010/03) 171-179pp.
25. 「問題解決実習を用いたラボラトリ方式の体験学習による学びの可能性を考える—看護医療領域における教育のための素材づくりより—」[単著]『体験学習実践研究』Vol.10 (2010/11) 1-

- 20pp.
26. 「ラボラトリー方式の体験学習を通じた教員の再教育プログラム」[単著]『SYNAPSE』2011年1月号(2011/1)30-35pp.
 27. 「人材育成に向けたグループマネジメント」[単著]『看護展望』2011年1月臨時増刊号(2011/1)33-46pp.
 28. 「人間関係における「プロセス」を再臆する—G.Weinsterin, E.H.Schein & W.B.Reddyのプロセスの視点より—」[単著]『人間関係研究』第10号(2011/3)137-155pp.
 29. 「グループや組織変革に向けたアクションプランニングモデルの2つの展開」[単著]『体験学習実践研究』Vol.11(2011/11)1-16pp.
 30. 「体験から学ぶことを支援するファシリテーターのあり方と働き」[単著]『ファシリテーター実践研究 フェローズ』Vol.2(2013/12)1-11pp.
 31. 「南山大学大学院人間文化研究科教育ファシリテーション専攻における教育実践—プロセス・エデュケーションの実践者の育成をめざして—」[単著]『教師教育研究』第27号(2014/3)77-84pp.
 32. 「人間関係づくり授業における現場教師とファシリテーターとの協働性に関するアクションリサーチ」[共著]『人間関係研究』Vol.13(2014/3)153-188pp.
 33. 「体験学習の循環過程を考える～体験学習の循環過程をさまざまに活用するために～」[単著]『体験学習実践研究』Volume 13(2014/11)1-10pp.
 34. 「グループと個人の変化モデルの再検討」[単著]『体験学習実践研究』Volume 13(2014/11)11-24pp.
 35. 「プロセスに焦点をあてたファシリテーションを学ぶ研修をデザインする」[単著]『人間関係研究』Vol.14(2015/3)102-132pp.